

# チームカ合

カ合小学校だより No18  
令和4年2月10日  
児童数: 525名  
文責: 校長 馬場康弘

## 3学期の現状より

新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染がなかなか収束せず、2月13日に期限を迎える予定だった「まん延防止等重点措置」も延期の方向で検討されているようです。本年度最後の3学期に向けて、子どもたちも思いっきり活動しようと張り切っていた矢先のことで、本当に残念で気の毒で仕方ありません。保護者の皆様方にも休日・夜間に関わらず、突然メールや電話等で連絡をさせていただくこともありました。ご心労とご苦勞をおかけしております。

すでに、一部学級閉鎖や学年閉鎖を行いました。比較的軽症で、元気な子どもたちも多数いたため、閉鎖中もオンライン学習を行ってきました。授業の様子をZoomで配信したり、課題をロイロノートへ提出したりするなど、子どもたちの集中の度合いを見ながらやってきました。子どもたちの学習権を保障しようと、担任は可能な限りタブレット等を活用しながら対応しています。何かご不明な点がありましたら、ご遠慮なくご相談ください。

また、2・3月の行事の見通しが立たず、臨時の職員会議（14日）を開き、今後のことについて全職員で再検討いたします。変更等が決まりましたら、速やかにご案内いたします。

## 感謝の気持ちを伝えよう～給食記念週間～

1月24日（月）～1月28日（金）までの給食記念週間に、各学級で給食に関して学習を行いました。食に対するマナーの他に、残菜や食器の返し方等を学年の発達段階に応じて学習しました。

子どもたちは学習後に、給食に携わっている多くの方々に対し、目に見える形で感謝の気持ちを伝えようと手紙等を書いていました。右の写真は、家庭科室前に掲示してある各学年の作品です。



## とねりこ音楽会週間に向けて！

今年度も体育館で一斉に行うことができず、演奏動画を各ご家庭で視聴していただくことになりました。また、学級の子どもたちが全員揃う日がなく、動画撮影ができていない学級がほとんどです。



そうした中、子どもたちは真剣な表情で演奏に取り組んでいます。校長室にも素晴らしい演奏が聞こえてきています。リコーダーや鍵盤ハーモニカ等、飛沫の恐れがある楽器が使用できないという制約がある中、どの学級も工夫を凝らし見ごたえのある演奏をしています。ほぼ仕上がっている状況です。やはり、何かに集中して一生懸命頑張る子どもたちの表情は、いつの時代も最高に美しいです。

あとは、動画撮影の日を待つばかりです。準備が整い次第、ご家庭へ配信させていただきます。

## 3連休ですが・・・

3学期も折り返しの時期を迎え、子どもたちは明日からの3連休で思いっきり楽しみたいと思っていたことでしょう。ただ、このオミクロン株の感染力はものすごく強いと感じています。当初は、マスクを着用せずに15分程度の会話をしたり、至近距離で接したりした場合、保健所から濃厚接触者と判定されるケースが多かったのですが、場合によっては陽性者・接触者の一方がマスクをしていないと短時間でも濃厚接触者と判定されることもあるようです。

## トネリコの今！

トネリコの現在の様子が育種場から写真を送られてきましたので紹介します。ただ、この冬の時期は「挿し木」をする上で一番厳しい時期でもあります。職員の方々は全力でケアされていますが、結果が伴わない場合もあるということでした。何とかトネリコの挿し木が順調に生長することを祈るばかりです。 ※育種場から掲載を許可されています。

【カ舎小シンボルツリーのトネリコ】穂調整



余分な枝を切り落とす

発根促進のための、切り口を楔型にする



穂調整後の枝

穂調整後の枝を発根促進剤に一昼夜付け置きする

【カ舎小シンボルツリーのトネリコ】さしつけ



さしつけ(2021年10月22日)

さしつけ(2021年11月2日)



切り口箇所に乾燥防止のため遮光剤を塗布

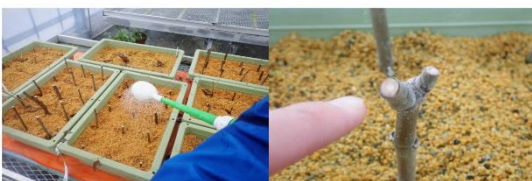
さしつけ後(発根促進のため、電熱温床を使用)

【カ舎小シンボルツリーのトネリコ】さしつけ後管理



落葉の除去前(落葉広葉樹のため全ての種木から落葉が見られる)

落葉の除去後



除菌剤の散布(月に1回ほど)

内部組織の色から生存していることが分かる

## 2月全校朝会 校長講話

2月1日実施

テーマ：自分との戦い ※文字が小さくなってすみません。

今日から2月に入りました。始業式の日、3学期学校へ登校する日は49日とお話しましたが、今日を含めて残りは、34日となりました。時間が過ぎるのは、本当に早いですね。

明後日2月3日は「節分」で、2月4日は「立春」です。季節は冬から少しずつですが春に近づいています。これは、職員玄関付近の桜の枝の様子です。やや見えづらいですが、つぼみも少しずつ膨らんできて、花を咲かせる準備をしているようです。

さて、今日は「自分との戦い」というテーマで話をしたいと思います。低学年の人には少し難しいかもしれませんが、分からなかった時には、後で担任の先生に聞いてください。

今、体育の授業で「持久走」をやっている学年が多いですが、みなさん持久走は好きですか？ 好き嫌いが大きく分かれそうですね。持久走をやってみると、初めは楽しいのですが、しばらく走っているうちに「ああきついな。もうやめようかな」という「弱い自分」と「きついけど、最後まで頑張ろう」という「強い自分」が、心の中で戦いを始めます。そのときどちらの自分を選びますか？

小学生の皆さんに対し、校長先生は「強い自分」を選んでほしいと願っています。これは、決して無理をしなさいということではありません。時には「弱い自分」を選んで自分を楽にさせることも必要な時があるでしょう。しかし、「弱い自分」をいつも選ぶ癖がついてしまうと、本当に頑張らなければいけない時に、途中で簡単にあきらめてしまうことが多くなるように思います。一方、「強い自分」を選ぶ癖がついてしまうと、やり遂げたときに達成感を感じることができ、それが自信になり、次に同じようなことが起きても「あの時頑張れたから今度もきっと大丈夫」と思えるようになることでしょう。たとえば、「強い自分」を選んでうまくいかなかったとしても、自分との戦いに勝ったという事実は残ります。そして、何でうまくいかなかったのだろうかかと振り返ることができ、「よし、次にまた頑張ろう。」という気持ちが湧いてきたりもします。

これまで話してきたことは、決して持久走に限ったことではありません。身の回りには山ほどあります。朝起きるときにすでに始まりますね。「布団の中が温かく、起きずにもう少し眠っておこうと思う弱い自分」と「寒いけど学校に行く準備をしようと思う強い自分」との戦いが始まります。校長先生も毎日その戦いをしています。それと、宿題もそうです。「きついから今日も宿題はしないと思う弱い自分」と「みんなも頑張っているから自分も負けずに頑張ろうと思う強い自分」との戦いもあるでしょう。みなさんには、ぜひ「強い自分」を選んでほしいと願っています。もし「弱い自分」を選んでしまう癖がついてしまった人がいたら、今からでも大丈夫です。決して遅くはありません。担任の先生やお家の方々もそんな経験を山ほどされていますので、思いきって相談してみてください。きっと何かヒントを与えてもらうことでしょう。

最後になりますが、新型コロナウイルスの感染がこれからも心配です。丁寧な手洗い・マスク着用・3密を避けるなど、自分にできることはしっかりやっていきましょう。